

「今だから見直したい」 ～子どもとの距離感～

進級、卒業、入学。新たな環境に進む思春期の
お子さんとの距離感を今、見直しませんか？

高校生の主張  私が伝えたい子どもの気持ち

第一弾

親子が適切な距離感で対等な関係性であるために、
子どもだから言えることを！

今回は、親子間であまりコミュニケーションが取れていない場合。
子どもが今の環境や状態に不安や悩みを抱えていたとしても、気づいてもらえ
なかつたり、家族に相談する習慣がついていないと、誰に助けを求めたらいい
か分からず一人で溜め込んでしまうこともあるんです。

そんな状態になる前に日頃から家族で相談し合う習慣をつけて、子どもが話し
やすい環境をつくってもらいたいです。だからと言って初めから無理に聞き
出そうとすると、子どもは余計に心を閉ざしてしまいます。ただでさえ日常会
話も少ないのに、デリケートな話をもっと言いづらいです。無理に聞き出そ
うとするのではなく、「今日、こんなことがあってちょっと落ち込んだんだ
よね～」と、ちょっとした出来事をお母さんから話してみてください。そこで
良い反応が得られなくても気にせず、
そうした習慣を続けていくと、子どもは「じゃあ自分も話してみようかな…」
と思うようになり、悩みを打ち明けやすくなります。

「今、元気だから必要ない」「悩みとか言わないから元気だと思う」ではなく
て、取り越し苦労でも、それでいいんです。
実際、私は日頃から相談するという習慣がついていたので、本当に困ったとき
にたくさんの大人の人に頼ることができて、ものすごく助かりました。
いつか、子どもが壁にぶつかった時、支えてあげられるように小さな準備を始
めることが子どもにとっても、一番大切なことだと私は思います。

次回は「過干渉について私が思うこと」です。

次回のおしゃべり会のご案内 3/16 (土) 10:00～11:30 玉泉苑にて

4～5名程のアットホームなおしゃべり会です♪

学校に行きにくいお子さんのこと、学校のこと、不安なこと…など
なんでも情報交換できます♪

お問い合わせ・お申し込みはこちらのQRコードで
LINEを友達追加後、メッセージをお送りください。

気になる子どものための親育ちの会「はるにれ」代表 巽 敦予

